

**人々の生活を支える人材へ
首都圏のリハビリ系専門学校に入学した男性**

このたび、首都圏のリハビリ系専門学校への入学式を終えて、新たな一步を踏み出すこととなりました。専門的な知識と技術を学べる環境に身を置けることを大変嬉しく思うとともに、その責任の重さを実感しております。これまでの経験を礎にしながら、リハビリテーションに関する知識と技術を身につけ、将来は人々の生活を支えることができる人材へと成長したいと考えております。

入学にあたり、まずは基礎的な知識の習得を重視し、講義や実習に積極的に取り組みたいと思っています。人体の仕組みや機能、リハビリテーションの理論などを着実に理解し、実践に活かせる力を養っていきたいと考えています。また、授業外でも関連する書籍や資料に触れ、主体的に学びを深める姿勢を大切にしていきたいです。さらに、日々の学習を振り返り、理解が不十分な点については早期に改善することで、着実な成長を目指してまいります。

クラスメイトや教員との関わりを通じて、多様な視点や考え方を学び、協調性やコミュニケーション能力の向上にも努めてまいります。リハビリテーションは人と深く関わる分野であるため、相手の立場に立って考える姿勢を常に意識し、信頼される存在となるよう努力していきたいと思っております。また、チーム医療の一員として必要とされる連携力や責任感も意識して身につけていきます。

加えて、実習や課外活動にも積極的に参加し、現場で求められる対応力や判断力を養っていきます。困難に直面することもあるかと思いますが、その一つ一つを成長の機会と捉え、粘り強く取り組んでまいります。実際の現場での経験を通して、自身の課題を明確にし、次の学びへとつなげていく姿勢を大切にしていきます。

今後は明確な目標を持ち、計画的に努力を重ねることで、社会に貢献できるリハビリテーション専門職として成長していきたいと思っています。入学という新たな出発点を大切に、日々精進してまいります。読売光と愛の事業団の皆様の支援に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。今後とも何卒よろしくお願い致します。

**「消防士になるという夢を実現させるために」
東海地方の4年制大学に入学した男性**

大学に入学して約1か月が経過しましたが、新生活が始まってから、これまで経験したことのない日々直面しています。私は東海地方にある大学の社会環境系の学部に所属し、将来は地域防災の分野で役立つ知識を身につけたいと考えています。その第一歩としての新生活は、今までと大きく異なり期待と共に戸惑いを感じています。

特に一人暮らしは初めての経験であり、生活のすべてを自分で管理しなければならない

点に苦戦しています。例えば、日々の買い出しでは、必要な物を計画的に購入することの難しさを実感しました。また、学校生活においても、授業の履修登録や課題の管理など、自主性が強く求められます。最初は戸惑うことが多かったのですが、友人や職員、時には大学のサポートを頼りながら、一つ一つの課題に向き合い、自分なりに工夫して乗り越えられるよう頑張っています。

こうした経験を通して、周囲の支えの大切さと同時に、自立することの重要性を強く感じています。まだ不慣れな部分が多く不安もありますが、少しずつ生活のリズムが整い始め、自分の成長を実感できるようになってきました。

今後の抱負としては、まず一人暮らしを安定させ、生活基盤をしっかりと築くことです。その上で、地域防災に関する専門的な学びに積極的に取り組み、災害に強い地域づくりに貢献できる人材となるため、日々の学習を大切にしていきたいと考えています。これからも私生活、学業共に怠らず、自分の目標に向かって努力を続けていきたいです。

「地域に貢献できる看護師になりたい」

信越地方の大学に入学した女性

私は、地域医療に特化している大学の看護学部に入りました。入学してから初めは緊張してしまい、友達を作るにもうまくいかないことだらけでした。ですが、グループワークや講義での話し合いによって少しずつ仲の良い友達に巡り合うことができました。ガイダンスでは履修登録の説明を受けましたが、いざ講義の登録してみるとなるとわからないことがたくさんで、大学は高校よりも校則など自由な部分が多いのですがその分、自分の行動のすべてに責任が伴ってくることを改めて実感しました。

看護学部ということもあって、身体のしくみを理解するカリキュラムはもちろんのこと、データを活用するための授業や、多文化について尊重しあうために多文化理解や信仰と文化についての科目も学んでいます。将来、看護師になれた時のために理解を深め、患者さんに最適なケアやコミュニケーションが取れるように頑張りたいと思います。

私が大学生活の中で目標としたいことは、「人との出会いを大切にすること」と「基礎的な知識を定着させること」です。大学ではたくさんのことを学びます。入学してまだ間もないですが、現在の時点でたくさんのことを学びました。新しく聞いた言葉はなかなか一回の学習では定着しません。だからこそ、予習・復習をするだけでなく、実習やグループワークで実際に活かしていきたいなと思っています。入学して出会った友人は看護師国家試験まで共に歩んでゆく仲間です。実習や試験で辛いことがあってもお互い支えあえたらいいなと思います。

私は生まれてからこれまで、たくさんの人に支えられてきました。だからこそ今の自分がいます。時には、つらい経験をし、人を信じられなくなってしまうほどの怖い思いもしました。ですが、その時に支えてくれた周りの人がいてくれたからこそ立ち直ることができ、自分自身が強くなることができました。その分、将来は看護師になって患者さんの身体的ケア

だけでなく精神的にもサポートができるように、大学生活での、一日一日の経験や学びを大切に頑張ります。

新しい出会いや経験を大切に 首都圏の専門学校に入学した女性

私は4月9日に入学式を迎え、新しい生活がスタートしました。入学式の前にはオリエンテーションが行われ、実際の学校生活に近い形での授業を体験しました。初めて受けた90分授業が想像以上に長く感じ、集中力を保つことが難しいと実感しましたが、同時にこれから専門学生として努力していくきっかけにもなりました。実際に過ごす中で少しずつ慣れていくことができ、少しずつ学校生活への見通しを持つことが出来ました。

プレスクールでは、同じコースの人たちで自己紹介をする機会がありました。人前で話すことに緊張しましたが、その中で2人の友達を作ることができ、とても嬉しかったです。また、入学式当日にも新しく2人の友達ができ、新しい環境で出会った友達は、まだ慣れない生活の中で私にとってとても大きな支えになりました。

現在は措置延長制度を利用し、施設で生活を続けながら通学しています。毎月支給される生活費5万円の中で食費などをやりくりし、限られた中で計画的に生活する力を身につけています。必要なものとそうでないものを自分で考えて選択する経験をすることで、自己管理能力や責任感を養われていると感じています。また、将来の自立を目標に、1人暮らしに必要な費用を少しずつ貯めて行きたいと考えています。まだ慣れない部分も多いですが、生活と学業の両立をできるように頑張ります。

これから通う専門学校では、始めに簿記の資格取得を目指し、基礎からしっかりと学んでいきます。また、社会人として必要なビジネススキルを身につける授業もあり、これらで学んだことを自分の力に変えていきたいと考えています。まだ新しい環境に慣れないことも多く、不安を感じることもありますが、新しい出会いや経験を大切にしながら、1歩ずつ成長していきたいです。そして、将来につながるように、この奨学金を活用し、有意義な学校生活を送っていきたいです。

児童福祉に携わる法律家となるために 九州の大学に進学した男性

九州の大学に入学してから一か月近くが経ちました。採用式の時はまだ本命だった大学の合否が決まっておらず期待していましたが、その後不合格となり残念に思いました。このような書き方をすると、どうしてもネガティブになってしまいますが、実際のところ、今は期待を胸に膨らませ、明るいものとなっています。

それは、まったく新しい環境に胸が躍っているからです。

大学では様々なオリエンテーションを経て、授業が始まりました。とはいえまだ専門的な内容の科目は少なく、法律に関する導入の授業や、高校の授業の延長線上にあるような授業

がほとんどです。しかしながら、気を抜かず授業に取り組まなければなりません。次年度のコース選択において、法曹を目指すならば法務コースを選択します。そのうえで、400人のうちの選ばれた30人にならなければならないからです。

そのような授業で特に面白いと感じているのは基礎演習の時間です。少人数のクラスでディベートなどを通じて法学を学ぶにあたっての基礎となる思考力を養成する授業で、知らない人と交流する機会になりますし、自分から手や頭を動かす時間が長いのでとても楽しいです。今回のメールの送信の際にもメールの送信の仕方をこの授業で学んだため、それが活きました。

生活面では、一人暮らしを開始し、自分でお金を管理したり、家事を行ったりするようになりました。光熱費の支払い方など、慣れないことも多くありますが、これから将来に向けてどんどん社会人として生きるために必要な能力を身に付ける練習をしておきたいです。

一人暮らしでは、もともと料理が好きだったので自炊をしています。食費節約も兼ねて毎日大学に弁当を持っていっています。献立を考えたり、作ったことのない料理に挑戦したりすることが今、一つの楽しみになっています。次回の報告までには、品目を増やしておきたいですね。

学生として勉強に取り組み、目標である児童福祉に携わる法律家となるための、これから良いスタートダッシュを切れるように励みます。

法律の奥深さと面白さ、自立することの大変さを実感 東海地方の大学に進学した男性

私はこのたび、東海地方の大学の法学部法学科に入学いたしました。現在は法律の基礎について学んでおりますが、実際に学び始めてみると、その内容は想像以上に難しく、日々試行錯誤を重ねています。特に民法は、単なる暗記では通用せず、条文の趣旨や判例の考え方を、深く理解する必要があるため、非常に奥が深く難しさを感じています。しかし、その分授業は非常に興味深く、日常のなかにこんなにも多くの法律が介在していたのだと、驚きもありました。

少人数授業では、講義と言うよりも、ひとつの判例について皆で話し合ったり、様々な角度の意見や疑問を出し合ったりするので、自分には無かった価値観や知識、考え方に触れられることができ、広い視野を持って法学を学ぶことができます。また、法学部は試験が厳しいことでも知られており、日頃から継続した学習が求められます。高校時代以上に高い成績を取めることを目標に、計画的に勉学に取り組んでいきたいと考えています。加えて、法律系資格の登竜門とされる、宅地建物取引士試験の勉強も並行して進めており、2月から学習を始めたこともあって、徐々に知識が身についてきたと実感しています。最近では、1日最低1時間の宅建勉強を徹底していて、夏休みには講座を受けることも検討しています。

生活面に関しては、3月から一人暮らしを始めましたが、慣れない生活に戸惑うことも多く、これまでどれほど支えられていたかを改めて痛感しました。生活面でも自立し、学業と

両立できるよう努力していきたいと考えています。

大学生活については、高校の知り合いがほとんどおらず、当初は不安もありましたが、ゼミやサークル活動を通じて、気の合う友人に恵まれ、充実した日々を送ることができています。今後も奨学生としての自覚を持ち、その立場にふさわしい行動と成果を示せるよう、日々精進してまいります。

観察力や表現力を身に付けたい 近畿地方の大学に進学し女性

このたびは奨学金のご支援をいただき、誠にありがとうございます。4月から芸術系の大学で、デッサン（形、立体・質感を正確にじっくり描く）やクロッキー（ポーズなどを素早く描く）などの基礎的な勉強や、絵コンテの制作などイラストレーションならではの授業を受けています。その他は講座などが多く、少し退屈になるかなと思いましたが、教授の話やデザイン史の動画など面白いものがたくさんあり、楽しく授業を受けることが出来ました。日々の授業や制作を通して少しずつ観察力や表現力を身につけて行きたいです。

また、7月に画廊での展示会があるので、それに向けて少しずつ作品を増やして行きたいとも思っています。今後は基礎力をさらに高めるとともに、自分らしい表現を見つけていきたいです。

生活面では、出来るだけ自炊をするように心掛けており、今では炒飯と豚平焼きが作れるようになりました。将来に向けて着実に力を身に付けられるように、生活面も気をつけて行きたいです。

改めて、このような学びの機会を支えていただきありがとうございます。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

将来的は留学し、実践的な語学力と国際的な視点を 近畿地方の大学に入学した女性

私は将来外国語を活かして国際交流に貢献したいと考え、この大学への進学を決めました。4月1日に無事入学式を終え、講義が始まり、少しずつ新しい生活にも慣れてきています。履修登録は、私が所属している学部の先輩にアドバイスを頂きながら、無事登録することができました。大学では専門的な知識や語学力向上を目標に日々の学習に取り組んでいます。今は英語を中心に講義を取っていて、TOIECで高得点を目指しています。そして、大学では自由な時間が増える分、自分で考えて行動する力が求められると感じています。そのため、スケジュールの管理を意識しながら、勉強とその他の活動を両立させ、充実した日々を送りたいです。また、授業だけでなく、韓国や中国など、さまざまな国から来ている留学生との交流も積極的に行っています。実際に外国の方とコミュニケーションを取ることで、語学力だけでなく、相手の立場に立って考える力や柔軟な対応力を身に付け、自分の視野を広げていきたいと考えています。ゼミでも友人をたくさん作ることができ、課題などをお互

いに助け合いながら取り組んでいます。

さらに、塾でのアルバイトも始めました。小学生、中学生、高校生に文系科目を中心に教えています。まだまだ慣れないことが多く、毎日新しいことの連続で戸惑うこともあります。アルバイトや日常生活の中でも人との関わりを大切に、社会性や責任感を養っていきたいです。

将来的には留学にも挑戦し、より実践的な語学力と国際的な視点を身と付けたいと考えています。異なる文化の中で生活することで、新たな価値観を学び、自分自身の成長につなげていきたいです。そのために1年時は英語力の向上に努めます。そして大学生活の4年間を通して、自分の目標に向かって努力を重ね、後悔のない学生生活を送りたいと考えています。

近くで支えてくれた方々に改めて感謝 九州の専門学校に入学した男性

私は今年四月から製菓製パン学科に入学しました。三月に施設を退園し、一人暮らしを始めました。生まれて初めての一人暮らしはとても心細く不安で仕方がありませんでした。16年間という長い間、いつも誰かが私のそばに居てくれました。そのありがたさを改めて感じ、それと同時に自分一人で生きていかなければならないという重圧も感じました。入学するまでは一人暮らしをしながら、アルバイトと自動車学校に通いました。一人暮らしに慣れるまではとても大変で、アルバイトと自動車学校の両立と自炊やゴミ出し、その他のあたりまえになっていたことを自分でするというのは苦労しました。入学をした時も、初めのうちは何をどうすればよいのか、この先ついていけるのかなどと、とても不安でした。しかし入学式の際、クラスメイトの男子が快く話しかけてくれました。それに、クラスには男子が28人中私を含め3人しかいないので、初めから結束力があったのだと感じています。入学後しばらくしてからは他のクラスメイトとも気軽に話すことができるようになりました。これから賑やかな学生生活になりそうです。

本格的に授業も始まり、私は今製菓の基礎知識等を学んでいます。実習をするには基本が頭に入っていないといけないので、いち早く実習で技術を得るために座学に取り組んでいます。先輩方との交流もあり、他校の教師の方々の講義があった際、二年生の先輩方が主体となって行動をしてくださり、私達一年生がわからなくなっている所をアドバイスしてサポートに回ってくれたりしました。頼りになる先輩方が居てくれて助かりました。

以上が私の入学報告です。これからも自分の将来の夢に近づけるよう、精進していきたいと考えています。

英語や接客などあらゆる資格取得に挑戦 九州の専門学校に入学した男性

入学してはや1ヶ月が経過しようとしています。3月末から九州の学生寮で一人暮らしを

しています。最初は田舎から都会にでて分からないことや不安なこともありましたが、高校時代の下宿生活の経験もあってすぐに慣れることが出来ました。5月からは学校の昼食を自分で作りたと思っています。

専門学校ですが、やはり男女比の割合では圧倒的に女子の割合が高く逆に男子は少人数なので皆とすぐ仲良くなることが出来ました。少ない人数だからこそ同じ目標を持つ同期のみんなを大切にしたいと思います。女子も接客業の職種を希望する人が多いこともあって、皆コミュニケーション能力が高くとても話しやすいです。

勉強は一コマ90分授業で月曜日と火曜日は四限、水曜日は二限、木曜日と金曜日は三限になっています。高校までは一コマ50分の授業だったのでまだ慣れておらず正直きついです。でも2限終わったら昼休憩なので案外あっという間に終わるような感じでもあります。

昼食は友達と毎日、低料金で食事が出来るところに行っています。毎日違うメニューを注文するようにしていてそれが1日の楽しみのひとつでもあります。5月からは昼食は自炊し、お弁当を持っていこうと考えています。

学校までは電車で通学しています。朝の通勤ラッシュは人が多すぎてびっくりします。でも最寄り駅は大きい駅なので急行・特急・普通どれでも通学できるのでそこはとても助かっています。周辺とのアクセスも良く、学校から天神に行ったり博多に行ったりするので、都会はすごいなあと思いました。友人とショッピングセンターや天神などに行ったりして、学校後も楽しく過ごすことができます。福岡はご飯屋さんが美味しくてつつい寄りたくなってしまう。バイトがまだ決まっていないので早く見つけたいです。

これからは英語を特に頑張りたいと思っています。目標は卒業までに英語検定準一級を取ることです。5月からは英会話教室に通おうと思っています。他にも接客やビジネスに関するあらゆる資格取得に挑戦したいと考えています。

8月からは東京のホテルに企業実習に行き、接客技術を一つ一つ確実に吸収し、一生懸命に頑張りたいです。将来は東京の一流ホテルに内定をもらえるように頑張ります。

以上